

新南和公立病院体制 基本構想・基本計画

【概要版】

南和の医療等に関する協議会

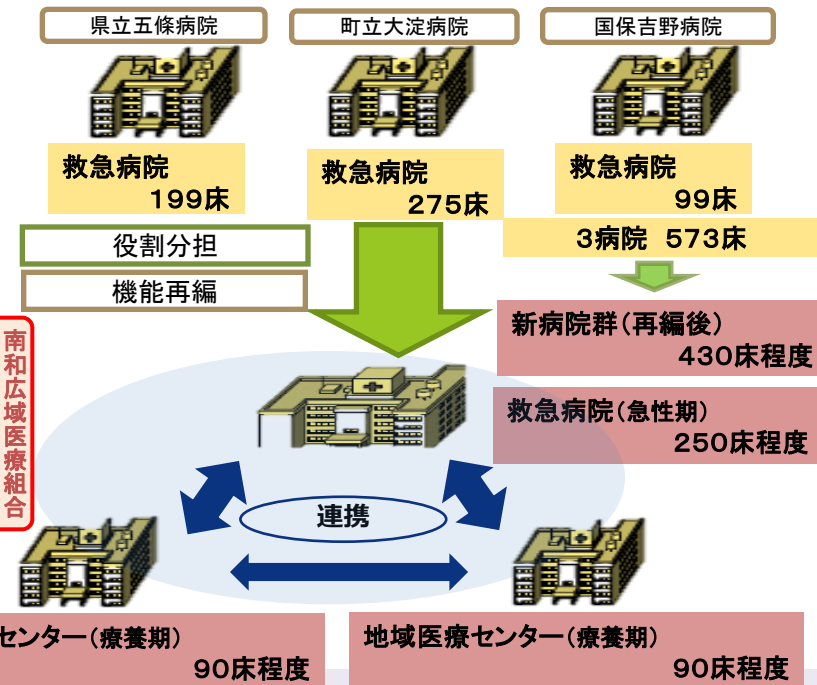
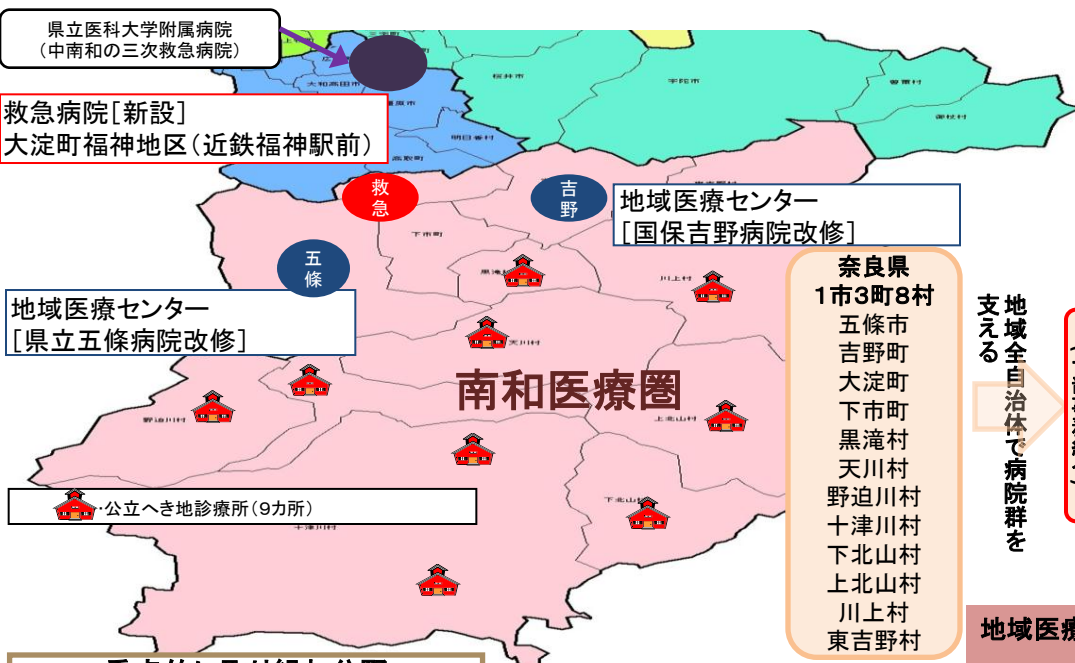
基本構想・基本計画は、「南和の医療等に関する協議会」の検討成果をもとに策定したものです。

新南和公立病院体制基本構想・基本計画(全体イメージ)

～基本理念：南和の医療は南和で守る～

南和地域の医療を再生する取り組み

医療機能が低下している3つの救急病院を、1つの救急病院(急性期)と2つの地域医療センター(療養期)に役割分担を行い、医療提供体制を再構築する。



重点的に取り組む分野

地域の救急を断らない病院

消化器疾患、呼吸器疾患、糖尿病、外傷・運動器疾患等の専門医療

療養機能の強化

へき地医療への対応

災害時に対応する医療

在宅への連携を見据えた高齢者医療

救急病院(急性期)



役割分担

救急病院の基本方針

地域の救急を断らない病院

消化器疾患、呼吸器疾患、糖尿病、外傷・運動器疾患等の専門医療

へき地医療への対応

災害時に対応する医療

在宅への連携を見据えた高齢者医療

地域医療センター(療養期)



地域医療センターの基本方針

療養への対応

在宅への連携を見据えた高齢者医療

身近な外来機能
(内科・整形外科 ※眼科等は今後検討)

南和地域の医療を再生する事業

地域医療を限りある医療資源で守っていくために、救急病院と地域医療センターの役割・機能を明確にし、切れ目ない医療体制を構築する。

- 救急病院(急性期)の整備
- 地域医療センター(療養期)の整備
- へき地医療の支援
- 広域経営組織の構築
- 看護専門学校を設置
- 地域の診療所との連携

1 南和医療圏・南和公立3病院の現状と課題

現状

南和医療圏では

- 人口の減少とともに高齢化率は21.3%に上昇
- 地域住民が地域内の医療機関に入院する割合は、4割程度

公立3病院の医療機能は、平成16年度から5年間で

- 医師数は約25%減少
看護師は約10%減少
- 救急搬送は約20%減少
- 入院患者数は約25%減少
外来患者数は約25%減少
- 医業収益は約25%減少
多額の実質損失



課題

- 救急医療の機能向上
- 急性期医療機能の向上
- 療養病床の整備
- 病院経営を支える仕組みが必要
- へき地医療への対応
- 医師、看護師の確保

2 新南和公立病院体制における目標

(1) 南和公立3病院の機能再編の基本理念

南和地域の3つの救急病院を1つの救急病院(急性期)と2つの地域医療センター(療養期)に役割分担を行い、体制を再構築する



基本理念

南和の医療は南和で守る

- 医療提供体制は、地域の市町村が主体的に支えていくこと
- 地域住民が必要な医療を適切に受けられる体制をつくること
- 医療提供体制を将来にわたり維持するためには、医療を受ける側の地域住民が理解を深め、協力すること

2 新南和公立病院体制における目標

(2) 新たな医療体制構築のための広域運営組織の設立

病院運営形態(現状と再編後)

現 状

南和医療圏公立病院

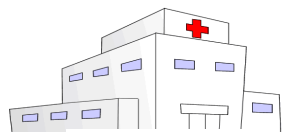
開設自治体



五條病院



吉野病院



大淀病院

奈良県

吉野町

大淀町

病院機能
再編・連携

南和地域
全自治体で
病院を支える
仕組

再 編 後

新南和公立病院体制

新設運営形態



救急病院
(急性期)



地域医療センター
(療養期)



地域医療センター
(療養期)

南和広域医療組合
(一部事務組合)

南和地域全自治体で体制を支える

奈良県

1市3町8村

五條市

吉野町

大淀町

下市町

黒滝村

天川村

野迫川村

十津川村

下北山村

上北山村

川上村

東吉野村

2 新南和公立病院体制における目標

(3) 新南和公立病院体制の概要・医療機能

救急病院（急性期）の医療機能

基本方針

- ・地域の救急を断らない病院
- ・災害時に対応する医療
- ・消化器疾患、呼吸器疾患、糖尿病
- ・在宅への連携を見据えた高齢者医療
- ・外傷・運動器疾患等の専門医療
- ・へき地医療への対応

救急病院（急性期）の診療

救急医療

24時間365日、救急車を受入する体制を構築し、搬送受入を断らない救急をめざす*。1次救急は医師会との連携にて対応をめざす。
*麻酔科医、脳神経外科医の確保

がん

予防、診断、外科的療法、化学療法を基本とした上で、緩和医療も行うことをめざす。
放射線治療は、奈良県立医大と連携して対応する。

小児医療

3病院の小児科医を集約し、医療機能を充実する。

脳卒中・急性心筋梗塞

現状の機能を維持すると共に手術や高度処置は県立医大で対応。救急隊で出来ないトリアージやリハビリ、合併症治療等の地域による受入の維持・強化をめざす。

糖尿病

診療所では対応が困難な患者の受入、合併症対応や生活指導入院等、糖尿病センターとして機能の維持・強化をめざす。

周産期医療

県立医大メディカルバースセンターとの連携を強化し、地域で妊婦健診、メディカルバースセンターで分娩を行う。ただし、将来医療従事者の確保及び一定の需要が見込める目途が立った際、体制について再検討する。

へき地医療

へき地医療拠点病院として、ヘリポートを有することによりへき地診療所の支援を行うとともにへき地代診医・看護師の確保・養成・研修対応の一層の強化をめざす。

災害医療

地震、洪水その他各種事故等に対応出来るよう災害チームを準備するとともにヘリポートなどの機能を有し、災害拠点病院としての機能を果たす。

在宅・高齢者医療

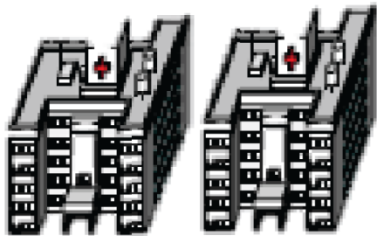
在宅医療支援センターを設置し、地域の医師、訪問看護、介護との連携強化をめざす。高齢者によくみられる疾患である肺炎や骨折等にも十分対応する。



救急病院（急性期）

2 新南和公立病院体制における目標

地域医療センター（療養期）の医療機能



地域医療センター（療養期）

基本方針

- ・療養への対応
- ・在宅への連携を見据えた高齢者医療
- ・身近な外来機能

地域医療センター（療養）の医療機能

療養機能

地域のニーズの高い長期入院機能

外 来

地域の身近な外来機能
（内科、整形外科）
眼科等は今後検討

在宅・高齢者医療

在宅医療支援センターを設置し、地域の医師、訪問看護、介護との連携強化をめざす。高齢者によくみられる疾患である肺炎や骨折等にも十分対応する。

(4) 医師・看護師の確保対策

- ・ 医師確保については、自治医科大学卒業医師を活用するほか、県立医科大学との連携を密に行い、地域として必要な医師の安定的な確保を図るとともに、総合医の養成・確保をめざす。
- ・ また、看護師確保については、看護専門学校の運営により看護師の養成・確保に継続して努める。

3 新南和公立病院体制における具体的な実施内容

(1) 広域運営組織の構築

全ての南和医療圏構成市町村(1市3町8村)と県を構成団体とする南和広域医療組合(一部事務組合)を設置する。

この組合は、効率的な経営により地域住民に最適な医療を継続的に提供できる体制を構築し、健康な生活を将来にわたり確保することを目的とする。

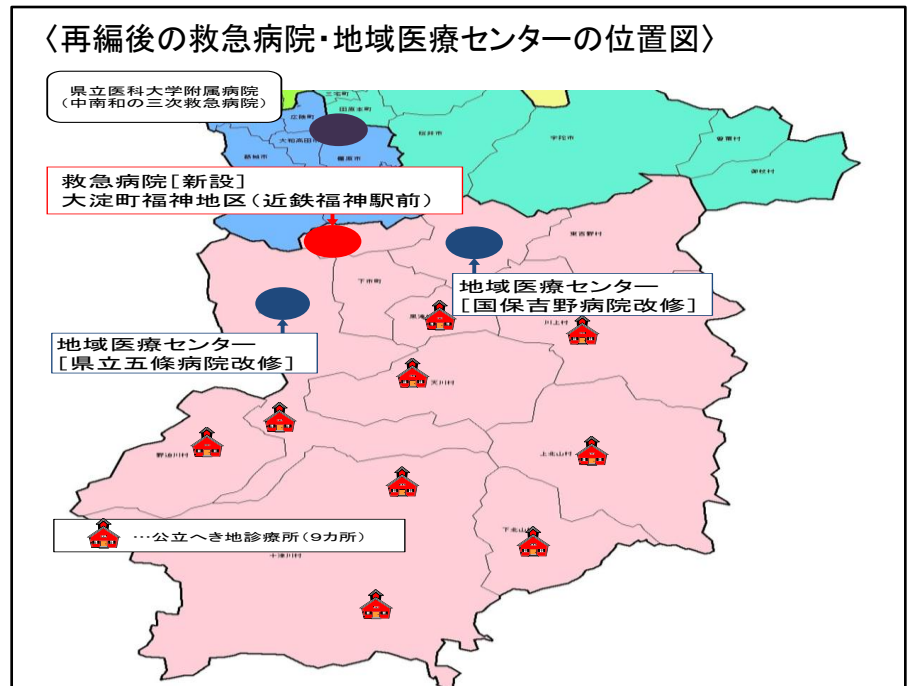
(2)-1 医療施設整備

・救急病院(急性期)の整備

- 大淀町福神地区に新設

・地域医療センター(療養期)の整備

- 県立五條病院の改修
- 国保吉野病院の改修



3 新南和公立病院体制における具体的な実施内容

(2) -2 医療施設整備

施設整備の基本方針

癒しと安らぎの空間を追求

患者にとって快適な療養環境を提供し、心やすらぐデザイン、色彩を導入する。

恵まれた自然環境との調和

静寂や眺望、採光などの療養環境の整備や、省エネルギーかつ暖かみのある空間を創出する。

災害に強い病院(救急病院)

東南海・南海地震を想定し、免震構造を導入する。また、ヘリポートを設置することにより、緊急時における広域の救急受け入れについて迅速な対応を可能とする。

地域に開かれた空間

地域に根ざした医療、保健、福祉連携により、来院者にとって利用しやすく親しみやすい整備計画とユニバーサルデザインを施設全体に展開することにより、親しまれる病院を実現する。

3 新南和公立病院体制における具体的な実施内容

(2) -3 医療施設整備

救急病院（急性期）の整備

- 病床規模 需要面や供給面を勘案し、250床程度（一般病床）
- 診療科
内科（総合、循環器、呼吸器、消化器）、神経内科、
外科（消化器、総合）、脳神経外科、整形外科、
産婦人科（分娩は当分休止）、眼科、小児科、皮膚科、
泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、
精神科（外来のみ）、歯科口腔外科（今後検討）
消化器病センター、糖尿病センター、在宅医療支援センター、
健診センター

3 新南和公立病院体制における具体的な実施内容

(2)-4 医療施設整備



今後、設計等により変更する可能性があります。

3 新南和公立病院体制における具体的な実施内容

(2)- 5 医療施設整備

地域医療センター(療養期)の整備

- 病床規模 2施設で各90床程度(療養病床)
合計180床程度
- 地域ニーズの高い長期入院機能
- 在宅への連携を見据えた高齢者医療
- 地域の身近な外来機能(内科・整形外科、※眼科等は今後検討)



吉野病院を改修



五條病院を改修

3 新南和公立病院体制における具体的な実施内容

(3) 看護師養成のための看護専門学校を設置

- ・ 地域医療を支えるため必要な看護師を確保・養成するため、看護専門学校を設置する
- ・ 質の高い看護を実践できるよう学校機能の充実を図る

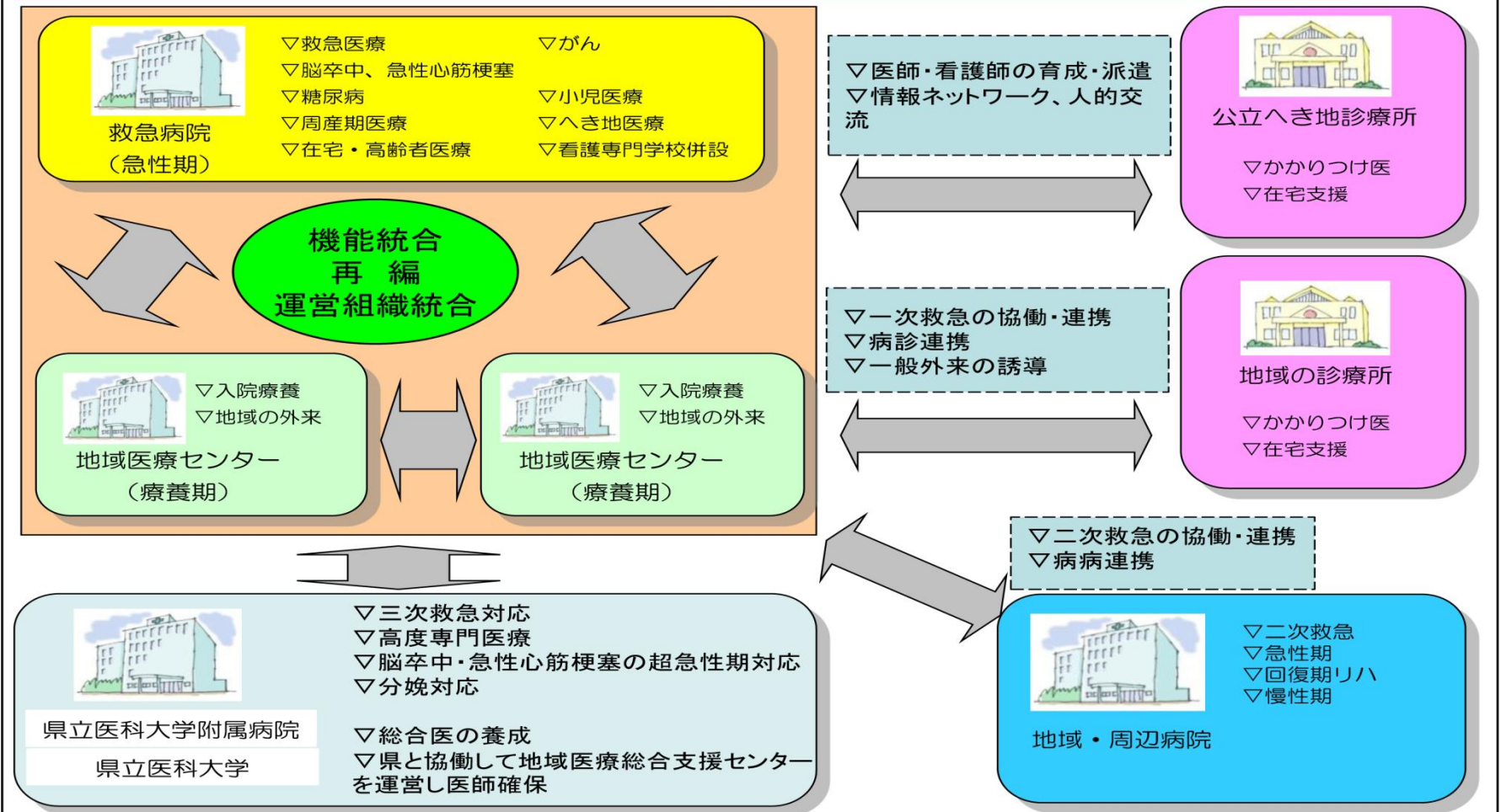
(4) へき地医療の支援

- ・ 医師・看護師の育成・派遣や、へき地巡回診療を行う
- ・ 救急病院では救急医療、災害時に対応するためヘリコプターや救急車の搬送受け入れを行う
- ・ 公立へき地診療所と南和公立3病院との情報ネットワーク化を推進し、診療予約や、レントゲン結果の相互利用をする

3 新南和公立病院体制における具体的な実施内容

(5) 地域の診療所、公立へき地診療所、県立医科大学等との連携

地域の診療所、公立へき地診療所、県立医科大学、地域・周辺病院との連携



3 新南和公立病院体制における具体的な実施内容

(6) 事業内容

① 救急病院整備事業

- (ア) 用地購入 (約 47,000 m²程度)
- (イ) 救急病院建物建築 (250床程度)
- (ウ) 外構工事 (駐車場800台程度・ヘリポート等)
- (エ) 設計監理・測量調査・地盤調査
- (オ) 医療機器・事務機器・備品・業務システム購入
- (カ) 看護専門学校建築 (定員40名×3学年)

<建築工事費用は経済性を考慮し、華美な仕上げ材料は避け、無駄を省く。>

② 地域医療センター整備事業

- (ア) 地域医療センター (県立五條病院)
建物改修、仮設建築、耐震建物内装・外壁改修、外構
- (イ) 地域医療センター (吉野町国民健康保険吉野病院)
建物改修、耐震建物内装改修
- (ウ) 既存施設買取り (県立五條病院・吉野町国民健康保険吉野病院)

③ 南和医療圏公立病院再編準備組織運営